

各 位

上場会社名	太平洋物産株式会社
代表者	代表取締役社長 柏原 滋
(コード番号)	9941)
問合せ先責任者	執行役員 総務部ジェネラルマネージャー 宮内 敏雄
(TEL)	03-5333-8080)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成23年11月11日公表の「特別利益の計上に関するお知らせ」を踏まえ、平成23年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年9月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,000	△100	△330	100	10.36
今回修正予想(B)	28,399	△329	△597	39	4.13
増減額(B-A)	△1,601	△229	△267	△61	
増減率(%)	△5.3	—	—	△61.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年9月期)	40,443	△1,128	△1,369	△2,774	330.90

修正の理由

平成23年5月12日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」でお知らせいたしましたように、年末・年始にオーストラリア山間部の豪雨による洪水の影響で、オーストラリア産牛肉の日本への輸入が計画通りに進まなかったことや、平成23年3月11日に発生しました「東日本大震災」により国内工業生産が著しく滞り、当社主力の輸出商品である中国向け産業用車両の出荷にも多大な影響を受けました。

その結果、通期業績予想の修正を行ないましたが、当期間中の後半には、北陸地方に端を発した牛肉の食中毒事件により、畜産品の消費にブレーキが掛かり、外食産業での消費低迷が長期化したため、販売を伸ばすことが難しい状況となりました。地震で影響のあった中国向け産業用車両の輸出につきましても、出荷準備は整うものの、中国におけるインフレ抑制策の一環であるインフラへの投資が抑制され、出荷を計画通りに進めることができませんでした。また、インドに保有しております産業用車両の一部を、市況価格に合わせ販売を行ったことから、在庫している産業用車両の商品評価減73百万円を行いました。

これらのことから、売上高が283億99百万円と通期予想より5.3%減となり、更に、継続企業として経営改善計画推進に伴う一時的な費用が増大しました結果、営業損失・経常損失の通期業績予想を修正いたします。なお、当期純利益につきましては、所有する不動産の売却による譲渡益2億80百万円、及び平成23年9月29日に前事業年度に破綻しました主要取引先の再生手続が終結した結果、同社向け売掛債権等の弁済を受けましたので、その貸倒引当金戻入等を特別利益として計上したこと等により、39百万円を予想しております。

(注)上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであります。最終の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上